



札幌市立真駒内中学校

【環境】キャラクター「ちっきゅん」

今できることから始めよう!

～「環境首都・SAPP_RO」を目指して～

「さっぽろっ子環境ウィーク」におけるSDGsアクション

宣言

「住み続けられるまちづくりを～真駒内を花で美しく～」



SDGsアクション

「生徒会 花植えボランティア活動」

本校では、南区地域振興課及び真駒内連合町内会と連携して、真駒内駅前通りの歩道脇の花壇に花（2600株のベゴニア）を植える活動を行いました。花植えを行うのは、真駒内中学校の全校生徒です。また、花を植えた後は定期的に花に水をやるボランティア活動も夏から秋にかけて実施しています。

開会式の運営や花の植え方の説明などは、生徒会や上級生が主体となり行います。昨年度からは、花壇に植える活動を1～3年生の縦割りグループで取り組み、今年度も同じ方法で取り組みました。小学校に比べて中学校は縦割り活動が少ないので、他学年と交流する数少ない活動の一つになっています。さらに、花を植え当日には連合町内会の約40名のボランティアの皆様も活動に参加してくださります。花植えの後は、1週間程度おきに各学級が水やりも行っています。



成果

駅前通りは通行人や車の交通量も多く、花壇を彩る美化活動はそこを通る人々の目を楽しませ、地域の活性化に貢献することにもつながっています。また、他学年の生徒や地域の方々との交流の機会ともなっており、様々な人々と関わり合いながら地域のまちづくりに参加できる貴重な取組となりました。

次年度の取組に向けて

次年度は、義務教育学校への移転に伴い、花植えボランティア活動の内容を一部変更して実施する予定です。当日行っていた開会式は実施せず、花を植える活動のみを生徒主体で行っています。

夏の学校移転後は、校舎は解体されてしまうので、今までのよう学校のすぐ横で自分たちが彩った花壇をいつでも見られるということはできなくなりますが、今後もまちづくりに少しでも貢献できるようにできることを考えています。